

“教育のゲーミフィケーション”を具現化！オンライン学習教材「すらら」 JICA 民間連携事業で採択！ スリランカで教育格差是正プロジェクトを始動

～低所得層の子どもたちを対象とした e ラーニング教育事業準備調査を実施～

株式会社すららネット（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：湯野川孝彦）は、株式会社アプライドマネージメント（所在地：東京都練馬区）、国際航業株式会社（所在地：東京都千代田区）とともに、独立行政法人国際協力機構（JICA）より民間連携事業協力準備調査（BOP ビジネス連携促進）に採択され、スリランカの BOP 層（※1）の子どもたちを対象とした教育格差是正プロジェクトを始動します。

（※1）「Base of the Pyramid」の略。世界の所得別人口構成の中で、最も収入が低い所得層を指す言葉で、約 40 億人がここに該当すると言われる。（参照：Wisdom ビジネス用語辞典）

今回のプロジェクトは、スリランカの BOP 層の子どもたちに、教師のレベルに左右されることの少ない効率の良い数学教育を広めるビジネスモデルの構築を目指すものです。

これによる目的は 2 つあり、1 つ目は数学達成度の改善を短期間で達成することです。2 つ目は女性銀行（※2）と協力し、一定教育を受けた BOP 層の女性をファシリテータとした e ラーニング塾の独立開業を支援することで、BOP 層の女性たちの雇用拡大・自立支援を行うことです。

（※2）女性の事業に対する国際信用保証機関＜Women's World Banking＞（参考：三省堂大辞林）

具体的には、スリランカのインフラなどのビジネス環境や、教育の現状・問題点の把握、BOP 層のニーズといった市場調査を行います。さらに、小学校の算数において小河式（※3）を採用し、ゲーミフィケーション要素を持つ「すらら」のノウハウを活用した e ラーニングのコンテンツを製作、その教材を活用したパイロット事業の実施・評価、ビジネスモデルの構築と事業計画の策定といったことを 2016 年 9 月末日までに行います。その後、実際にビジネスの運営開始を目指します。

（※3）小河勝氏が 40 年に及ぶ教育現場の経験をもとに開発した勉強法。短時間集中型反復学習法（短時間、毎日反復することで身に付ける）、「3・3 方式（同じ内容の学習を 3 日間続ける）」といった勉強方法を用いる。

スリランカを始めとする途上国の発展にとって、教育は最も重要な課題の 1 つです。特に、基礎数学力は現代社会において生きる力であるにもかかわらず、多くの子どもたちは十分な基礎計算能力を身に付けていないのが現状です。その最大の要因は教員自身の質にありますが、特に数学は教員でさえ理解が不十分であるため、公教育の質的改善には長い道のりが必要です。

すららネットでは、「世界中の教育格差の根絶」を理念としており、今後も品質の良い教育を安価に提供することで、教育格差を解決していきたいと考えています。

NEWS RELEASE



■JICA 採択の「民間連携事業 協力準備調査 (BOP ビジネス連携促進)」実施企業

○株式会社すららネット

オンライン学習教材「すらら」などによる教育サービスの提供および運用コンサルティングを実施。
 本採択事業では、eラーニング教材の開発・運営、ビッグデータのモニタリングによる改善・改良やeラーニング運用者を対象とした研修等を行う。

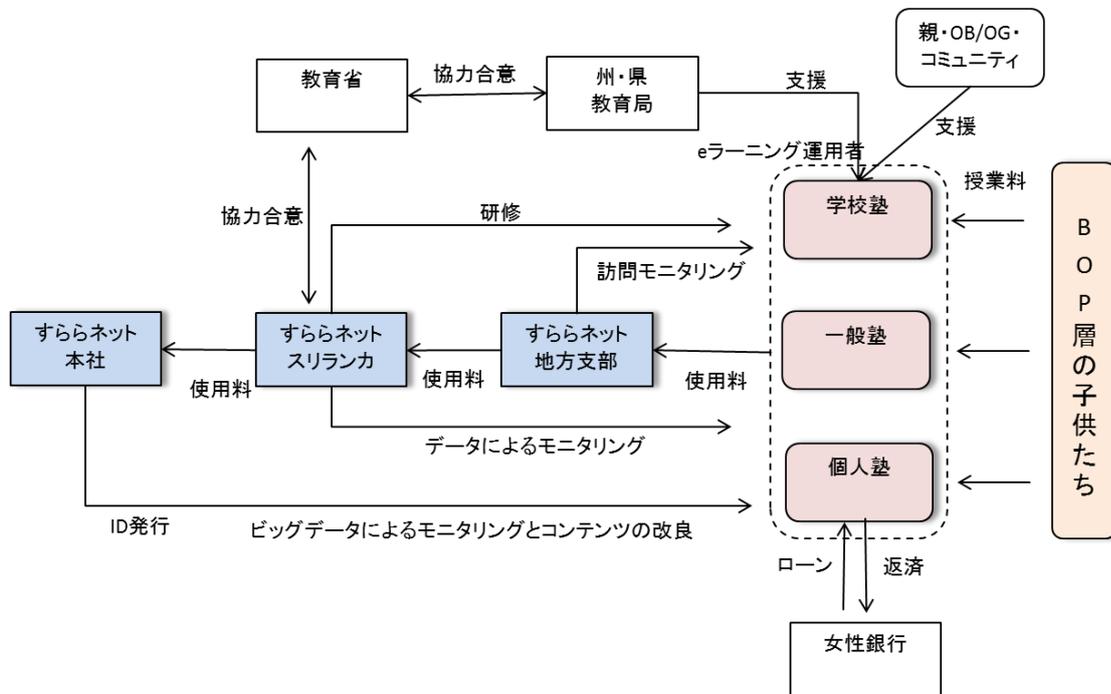
○株式会社 アプライドマネージメント

1991年の設立以来一貫して途上国における人材育成・教育・経営分野のプロジェクトを実施。
 本採択事業では総括として調査全体をまとめるとともに、学校や塾で実施するパイロット活動の推進、教育省や女性銀行などの関係機関との調整、現地スタッフの教育・管理などを行う。

○国際航業株式会社

最先端の空間計測技術を駆使した測量・計測、取得した空間情報の加工、分析・解析、利活用を通じて、様々なソリューションを提供。
 本採択事業では投資環境に関する調査を行う。

■現在想定しているビジネスモデル



■オンライン学習教材「すらら」とは

【学習範囲】 小学校高学年～高校3年生までの学習指導要領に準拠

【対応教科】 英語・数学・国語

【利用者数】 約28,000名（2014年5月末現在）

【特徴】

○Point 1 スモールステップでわかりやすいインタラクティブ授業

1つの単元は10から15分程度で、小さな階段を少しずつ上るような構成。

しかも授業は一方的ではなく、随所で先生役のキャラクターが問いかけを行い、問題に答えていくというインタラクティブスタイル。そのため、飽きることなく、適度な緊張感を持続し、楽しみながら学習を進めていくことが可能。

○Point 2 難易度調整や弱点診断ができる演習ドリル

一人ひとりの理解度に応じて出題される問題の難易度を調整する「出題難易度コントロールシステム」を搭載。「簡単すぎず難しすぎない」問題が出題されることで、達成感を感じ自信を深めながら、学習を進めることが可能に。また、何がわからないから問題が解けないのか理由を探る「弱点自動判別システム」も搭載。

○Point 3 現役の塾の先生による手厚いフォロー

いつまでにどこまでの学習をするかといった「月1回の目標設定」や、つまづいているところがないか「週1回程度の電話やメールでの進捗確認」など、継続して取り組めるよう現役塾講師がフォロー。また、オンライン学習だからこそ、学習内容や正答率・解く速さなども詳細に把握できるので、お子様一人ひとりに応じたきめ細やかな学習指導が可能。

<参考>これまでのオンライン学習教材の大半は以下の3パターン

1. 動画配信型：カリスマ講師のレクチャービデオを視聴するタイプ
「理解」にはすぐれているが「反復」の部分がないためやりっぱなしになってしまい、実力が身につかない傾向がある。また、一方的な説明となるため、比較的意識の高いお子様でない、集中力が続かない。
2. 問題集型：問題集の結果をパソコンに打ち出して結果分析をするタイプ
「定着」にすぐれているが「理解」の部分がないため、学力の高い生徒でない、一人で学習を進めることが困難な傾向がある。
3. ゲーム型：携帯用ゲーム機などを使って学習するタイプ
非常に楽しく学習できるが、単語など反復による暗記系が中心で、体系的な学習には不向き。

「すらら」はこうしたそれぞれの短所を補い、長所を相乗効果的に組合せた、理想の"次世代型教育システム"です。

■すららの「ゲーミフィケーションの要素」

- ①他のユーザーと「総学習時間」や「クリアユニット数」で競い合う緊張感
- ②キャラクターによる対話形式で根本理解を深める本格的なレクチャー
- ③ドリルパートにて、生徒ごとにカスタマイズされた問題を解き、各ステージをクリアするという快感



努力指標（学習時間・クリアユニット数）におけるランキング

学習レベル：「累計総学習時間」「累計総クリアユニット数」によって自分のステータスが、ランクアップする仕組み

今日の目標一覧：自分or先生が設定した目標ユニットが表示される

クリアユニット数の推移

■株式会社すらら ネット 会社概要

- 設立：2008年8月 ○ 資本金：11,325万円 ○ 所在地：東京都千代田区内神田
- 事業内容：オンライン学習による教育サービスの提供および運用コンサルティング、マーケティングプロモーション及びホームページの運営
- 会社 URL： <http://surala.jp/>